和泉市ため池ハザードマップ

鏡池・藪池

【ハザードマップ活用の留意点】

平成30年7月に発生した西日本豪雨や令和元年東日本台風（台風19号）では、ハザードマップで示された浸水想定区域や土砂災害警戒区域以外でも被害が発生したケースがありました。

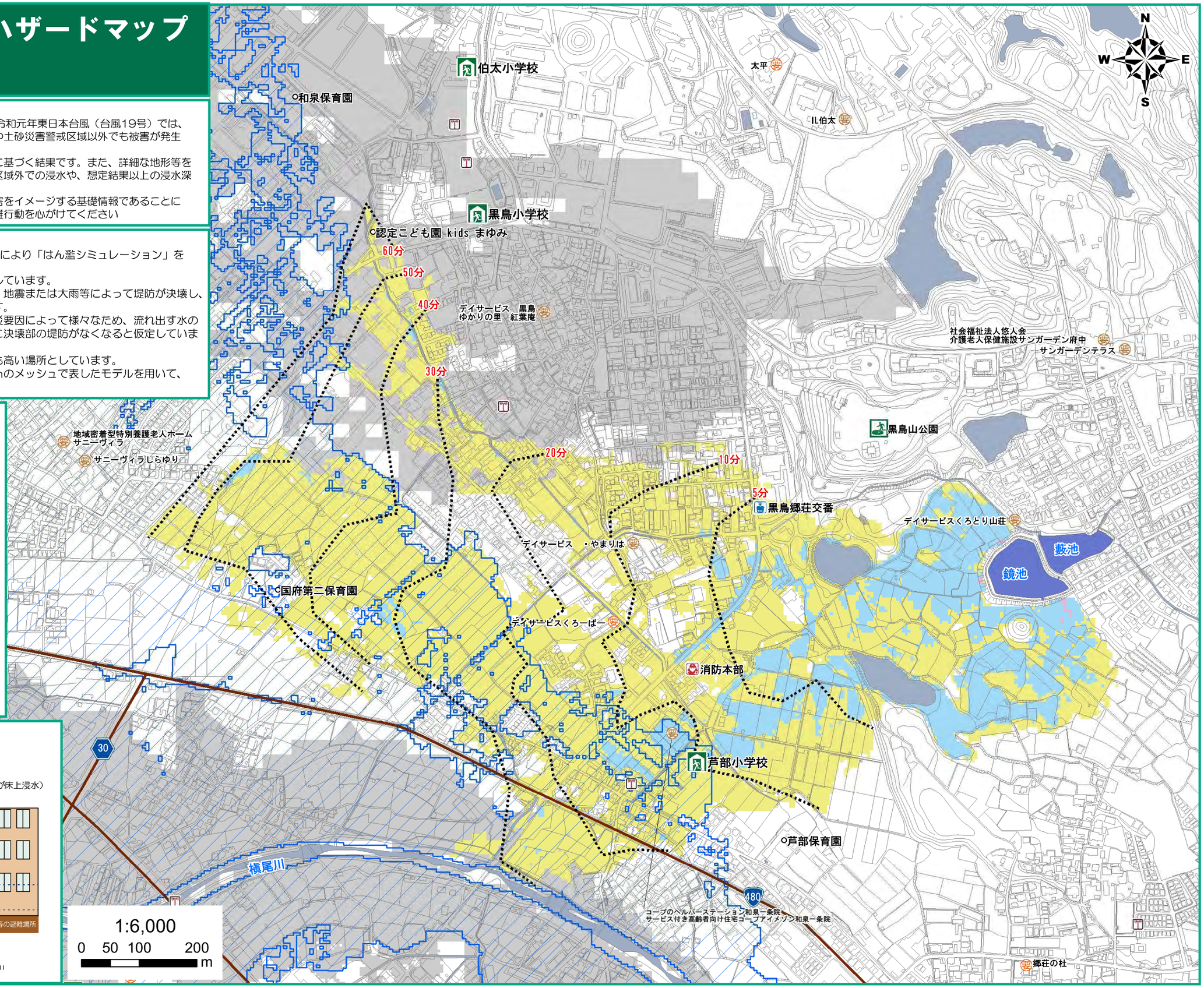
浸水想定結果は、ある一つの仮定条件に基づく結果です。また、詳細な地形等を反映できていない場合もあり、浸水想定区域外での浸水や、想定結果以上の浸水深となる可能性もあります。

このため、ハザードマップは多様な災害をイメージする基礎情報であることに留意し、発災時は状況に応じた柔軟な避難行動を心がけてください

【はん濫シミュレーションの条件】

万が一への　備えとして、以下の条件により「はん濫シミュレーション」を実施しました。

① 想定される最大規模のはん濫を想定しています。
② 決壊時のため池の貯水量は満水とし、地震または大雨等によって堤防が決壊し、全貯水量が流れ出すと仮定しています。
③ ため池決壊の進行速度は、堤防の被災要因によって様々なため、流れ出す水の勢いが強くなる場合を想定し、瞬時に決壊部の堤防がなくなると仮定しています。
④ 決壊を想定した位置は、堤防高が最も高い場所としています。
⑤ 数値シミュレーションは、地形を５mのメッシュで表したモデルを用いて、はん濫流の動きを計算しています。



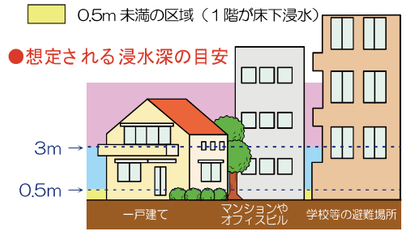
凡例

- 指定避難所
- 一次避難場所（公園）
- 警察署
- 消防署
- 要配慮者利用施設
- 無線サイレン
- アンダーパス
- 幼稚園・保育所
- 土砂災害警戒区域（急傾斜）
- 大津川水系浸水想定区域（想定最大）
- 高潮浸水想定区域（想定最大）
- 市境界
- その他のため池浸水想定区域

●浸水想定区域

- 3.0m 以上の区域（２階が浸水）
- 0.5m 以上～3.0m 未満の区域（１階が床上浸水）
- 0.5m 未満の区域（１階が床下浸水）

●想定される浸水深の目安



●はん濫水の到達時間

○分